

市民パト・センだより

～「NPO 法人市民パトロールセンターはむら」の発展に期待します～

市民の全ての方が、毎日を安心して過ごすことができる「安全なまち羽村」を実現するためには、羽村市、警察署、消防署などの取組みに加えて、市民の皆さんによる地域主体の、地域ぐるみの防犯活動の取組みが不可欠です。

市民一人ひとりが防犯意識を高め、犯罪の被害に遭わないように注意するとともに、地域の問題を自らの問題として取り組み、地域が連携して、犯罪の機会を与えない、犯罪を起こしにくい「まちづくり」を進めることが強く求められています。

現在、市内におきましても、地域住民の皆さんが自らの力でパトロール活動や子どもの見守り活動など、様々な防犯活動を展開され、犯罪の抑止に大きな力を発揮しています。

そのような中で、「NPO 法人市民パトロールセンターはむら」は、市民ボランティアによるパトロール活動を推進する「核」として、「自分たちの街は自分たちで守る」の基本理念を実現するため、小作駅東口と羽村駅西口に設置されたパトロールセンターを拠点にパトロール活動を実践され、羽村市の安全、安心のまちづくりに大きく貢献されることに敬意を表すところでございます。

貴法人は今年度で発足 4 年目を迎え、その活動も「徒歩によるパトロールの実施」など新たな事業を積極的に展開され、犯罪の抑制、交通安全や火災予防のさらなる充実・推進を図られるなど、その活動に大きく期待するところでございます。

市としては、防犯・防災活動の中で市民や地域の主体的な活動と連携を、更に深めることを「たて糸」とし、「NPO 法人市民パトロールセンターはむら」の活動が中心的な役割を果たしていただくことを「よこ糸」とし、織りなす布が市民の安全、安心のまちとして温かく包むものとなるように、側面から強固に支援をしてみたいと思いますので、これからもよろしくお願い申し上げます。



羽村市市民生活部長 早川 正

パトロールの眼(その1)

～鶴の目・鷹の目～

近頃、子どもを誘拐・拉致する卑劣な事件が跡を絶たない。身近では最近、公園などで飴玉をもらった子どもが気を失う等の卑劣な事件が発生している。

パトロール中に、人気のない公園や広場で一人で遊ぶ子どもを時々見かけるが、とても気懸かりです。

子ども達を守るには、周りの大人たちの温かい眼と時には厳しい眼が必要です。

でも、うっかり声掛けると不審者と思われ逆に疑われる世の中、故に大人も躊躇してしまふ。

その点、パトロール隊員は身分証明書を首にかけての制服姿、常に二人での声掛け・眼を光らせているが、もっと回数の濃い巡回が今後の課題です。(響)



「ア・タ・リ・マ・エの原理」と「親心スイッチオフ訓練」ってなあ〜に？

だまされません！



都内で一番多い詐欺は、オレオレ詐欺、被害額はなんと昨年1年間で約55億円！
「ア・タ・リ・マ・エの原理」と「親心スイッチ」赤の他人に母さんと呼びかけない、偽名を使って電話をかけないのはア・タ・リ・マ・エですね。逆も「オレだよ、母さん」という電話を受けた場合には、電話の相手を息子や孫だと判断するのもア・タ・リ・マ・エなのです。これを「ア・タ・リ・マ・エの原理」と言います。この「ア・タ・リ・マ・エの原理」の世界では、「オレだよ、母さん」という親しげな電話の呼びかけだけで無意識に「親心スイッチ」が入るのです。

被害を免れるための方法～親心スイッチをオフにする～

- ①息子が目の前にいた(親心スイッチが入らなかった)
 - ②息子からたまたま電話があった(親心スイッチがオフになった)
 - ③前から息子が使っていた携帯にかけて確認した(親心スイッチを自分でオフにした)
- ③のように、息子や孫から電話で至急のお金の援助を頼まれたときの「ア・タ・リ・マ・エ」の手順として、何にも考えずに息子や孫が以前から使っている携帯電話に連絡確認すれば、被害にあわないこと100%保証できます。(警視庁提供資料)



犯罪発生とパトセンの活動状況

羽村市内の犯罪発生状況

(資料提供: 福生警察署)

	凶悪犯	粗暴犯	侵入盗犯	非侵入盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計
平成26年4月～8月	1	11	13	296	6	3	33	363
平成25年4月～8月	2	14	16	282	5	0	39	358
4～8月比較増減	-1	-3	-3	14	1	3	-6	5

前年と比べて「非侵入盗犯」が非常に増えています。その多くは自転車の盗難です。施錠のかけ忘れに十分注意が必要です。また、駐車場における車上狙いも多発しており、今後は駐輪場や駐車場を重点に警戒していきますが、市民による注意や関心が重要です。

市民パトロール活動状況

平成26年4月1日～平成26年9月30日(6か月間)

区分	実施日数	実施回数	実施時間	実施者延べ人数
昼間	138日	71回	142時間	142人
夜間		193回	386時間	386人
深夜		125回	375時間	250人
計	138日	389回	903時間	778人

- ・ 7/26・27の両日、実行委員会メンバーとして、はむら夏まつりの会場と周辺の巡回パトロールを実施。
- ・ 8/4～7までの4日間、社会福祉協議会主催「2014!体験ボランティア」に当法人が参加し、ボランティア活動を希望した子ども達(5人)と一緒にパトロール活動を行った。
- ・ 9/20・21の両日、「はむらふるさと祭り」のパトロール活動に参加し、会場周辺の巡回パトロールを実施。



子どもたちのパトロール体験

8月4～7日、羽村市社会福祉協議会主催「夏！体験ボランティア」に今年も子ども達がパトロール活動に、ボランティアとして応援に来てくれました。

出発する前にセンター内でパトロール活動の説明で、子ども達が車内のマイクによる広報活動を行うことを聞いて、子ども達がみんなびっくり！

熱中症予防、不審者などの広報文を放送しながら市内のパトロールを行いました。初めてのパトロールと広報の体験をしました。パトロール隊員から「上手に広報ができたね」と褒められた子ども達も「にっこり」。

子ども達にとって夏休みの良い思い出の1ページになってくれると嬉しいです。

来年も実施する予定です。皆さんの参加をお待ちしております！



あおばずく隊から一言

知人に声をかけられて参加させていただきました。40年以上羽村に住んでいるので、道は知っているつもりでしたが、地元の方とペアを組むと迷路のような道に出くわすと、ちょっとワクワクします。

この夏、不審者出没という情報がありましたので、公園を徒歩にてパトロールする際、不審者を見かけなかったか、声をかけてみると複数の女子小学生がおかしな行動する男の人を目撃していました。

また、富士見公園の周りをパトロール中、バイクに乗った男性が近づいてきて、「ベンチですっと一人で腰かけている男の子を見かけたので、見回ってほしい」という依頼を受けたことがあります。

パトロール車を見て、声をかけていただけるのは大変嬉しいことです。パトロール車が少しは市民の皆様の安心につながるのなら、パトロールする意義があると感じるこの頃です。

私は、友人に誘われ市民パトロールセンターの一員になりました。

諸先輩のご指導により、仕事の内容も少しずつマスターでき、青パトに乗り少しでも犯罪から大切な子ども達を守りたく、羽村の市内を巡回させていただいております。

また、徒歩パトロールも、少しの日数ですが参加しており、パトロール中に「ご苦労さまです」と声を掛けられ嬉しく思います。

これからも安全・安心の街づくりに微力ではありますが、協力していきたいと思っております。

菱田 和子隊員



ぜひお立ち寄りください！

今年も産業祭に出展します！

11月1日（土）・2日（日）に富士見公園に集合！

当日は、青色回転灯装備パトロール車（略称「青パト」）の展示や防犯クイズを行いますので、産業祭にお越しの節は、「市民パトロールセンターはむら」のブースにぜひお立ち寄りください。

青パトの体験乗車やパトロール隊員の服装での記念撮影ができます。





正会員・賛助会員募集

私たちは、羽村市の皆さまの安全・安心の街づくりのため「市民パトロールセンター」を拠点とし、防犯活動をしています。

この活動を更に充実・強化し、警察署・消防署・市役所などの官公庁、そして羽村市内の各団体との一層綿密な連携を図ることにより、市民ボランティアによる自立した民間の組織団体として、今後も様々な活動を展開していきます。この活動にご協力をいただきたく、正会員及び賛助会員を募集しております。

会費は、この活動をより充実したものとするための運営資金に充てさせていただきます。ご連絡いただければ、説明に伺いますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

区 分		入 会 金 (初年度のみ)	会 費(毎年度)
正 会 員	個 人	3,000 円	5,000 円
	団 体	5,000 円	10,000 円
賛助会員	個 人	0 円	1 口(1,000 円)以上
	団 体	0 円	1 口(1,000 円)以上

問合せ・申し込み

小作センター 555-8101
羽村センター 555-8586

みなさまのご協力をお願いいたします。

新会員を紹介します

(平成 26 年 6 月 1 日～9 月末日)



〈正会員〉(敬称略・五十音順)

橋本智樹

〈賛助会員〉(敬称略・五十音順)

須崎貞之・田村美智子・中山繁光
古海正

徒歩でのパトロール隊員を募集しています!!

NPO 法人「市民パトロールセンターはむら」では、普段から巡回している青パト車でのパトロールに加え、徒歩でパトロールをしてくださるボランティアの方を募集しています。

皆さま!! 健康のために歩きませんか?
市内の防犯にもなり、一石二鳥です。

新しい隊員の紹介(平成 26 年 9 月末日現在)

橋本 智樹さん
須崎 貞之さん



(パトロール隊員総数:45人)

編集後記

10月になりました。もうすっかり秋です。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…。皆さんにとって、秋はどんな季節でしょうか。

市民パトロールセンターはむらは、地域の防犯と市民の安全・安心を街づくりのため、平成23年9月から、羽村市内を青色回転灯装備車(青パト)により防犯パトロールを実施して3年を経過しました。

今年の4月からは、市民の安全・安心のパトロール活動の充実を図るため、徒歩パトロール活動も実施しております。

ぜひ、市民パトロールセンターはむらの活動の趣旨をご理解いただき、なお一層のご支援をいただきますようお願いいたします。(事務局)



発行 平成 26 年 (2014 年) 10 月 15 日
編集 NPO 法人 市民パトロールセンターはむら
羽村市小作台 1-16-1 TEL・FAX 555-8101
E-mail アドレス: patosen-hamura@tokyo.email.ne.jp